

共利群生の もりをめざして

献木記念樹と
献木運動



秋晴れの中、平成25年11月1日 献木植樹祭を開催致しました。

また、皆様から献木のご净財とともにたくさんのお手紙をいただき、祖山の大自燃に対する関心の深さが伝わって参ります。

昨年10月、高野山において第42回全日本仏教徒会議が開催されました。全国から多くの皆様が参加されたこの大会のテーマは「宗教と環境－自然との共生－」であり、まさに山林部が理念とする「共利群生」の意義がそこにあります。

我々は「信仰の森」ともいべき祖山の信仰環境を護つていくことを第一義の使命とし、森厳護持のため、また自然環境に対する理解をひろく深めていただくため、皆様の期待に添うよう山づくりを目指してまいります。

引き続き皆様のご支援を賜りたいと念願しております。

合掌

総本山金剛峯寺山林部は、高野山の森林を護ることを目的として、古くから献木運動を続けてきました。献木運動とは高野山の森厳護持のため、多くの皆様方に植林や森林保育のための净財をお願いするものです。

献木運動の記録をはじめてからだけでも、その御寄進件数は43,627件を数えました。そのうち、平成25年度は4月から12月まで780件で650万円余りの献木志納金を頂戴しております。多くの皆様方のご理解とご協力にあらためて御礼申し上げる次第です。

また、皆様から献木のご净財とともにたくさんのお手紙をいただき、祖山の大自燃に対する関心の深さが伝わって参ります。

昨年10月、高野山において第42回全日本仏教徒会議が開催されました。全国から多くの皆様が参加されたこの大会のテーマは「宗教と環境－自然との共生－」であり、まさに山林部が理念とする「共利群生」の意義がそこにあります。



高野山開創1200年記念大法会
法会期間 平成27年4月2日～5月21日



ご挨拶
山口 文章
総本山金剛峯寺 山林部長

文化財の森システムに参画いたします。

これは文化庁が文化財建造物の保存のために必要な、山野から供給される資材（特に調達が困難なもの）を安定的に確保し、技能者育成に関する普及啓発活動を推進するシステムです。

先人が植え大切に育て、皆様の献木のおかげで整備された森が樹齢100年を経過して檜皮の採取が可能となりました。

このシステムに天然林を含め檜皮採取が可能なエリア約125HAをふるさと文化財の森に設定申請いたしました。

これにより高野の森からたくさんのが供給出来るような仕組みをつくり、たくさんの文化財建造物の保存に貢献できるものと確信しております。

檜皮とは高齢級のヒノキの樹皮を剥いだもので多くの文化財の屋根葺き材料とされています。

平成25年10月からは天然林の樹齢約250年の場所を1ヶ月間にわたり採取いたしました。現在、皮を剥がれたヒノキは赤く染まっています。

そして伽藍中門の檜皮葺作業も順調に行われています。



伝統を伝える 高野の宮大工

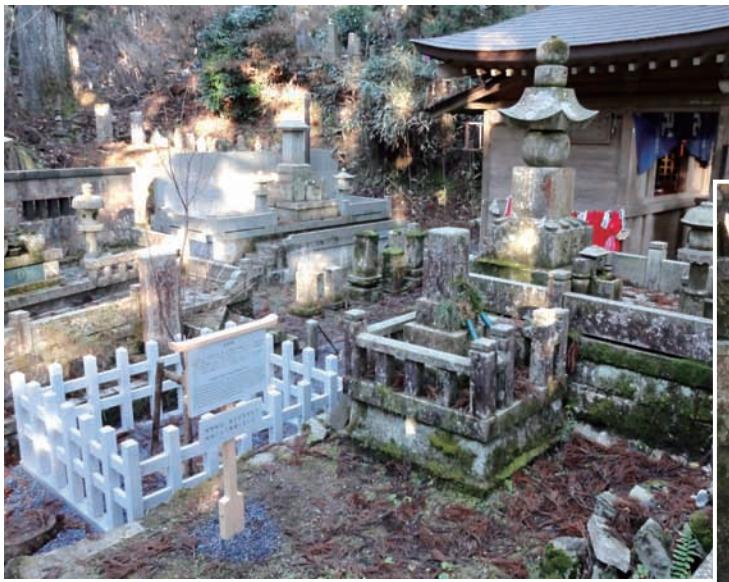
現在、中門の本体は、ほぼ完成、この春の雪解けと共に、素屋根を解体し、石垣や木柵の周辺整備の後、本年の12月に完工の予定です。

写真は、本工事着工以前に尾垂木等の傾斜の検討のために造られた、中門上層部の実物大レプリカです。柱肘木を2段に重ねる古式の尾垂木付き三手先組物で、柱通りの3段目通肘木から、尾垂木に架け渡す二手先目通肘木にかけて軒小天井を張り、丸桁との間には軒支輪が架けられています。今後、作業館等に展示する企画もありますので、ぜひご来山の上、ご高覧下さい。



参与会

前回号でお知らせいたしました「棺掛桜」跡地は参与会の助成をもつて整備が完了いたしました。



古来より山には神が宿るとされ人々は山を聖なるものとして特別の敬意をささげてきました。

山林部では毎年11月7日は山の神の日として山の恵みと仕事の安全を祈願して祭りが行われます。

そしてお参りに訪れた方にお餅まきをしてもらっています。

この日、山に従事する方々は山に入らず仕事をお休みして1日を過ごします。

山の神は金剛峯寺の北側の裏山にお祀りされています。



山の神

三鉢の松

高野山には伝説や由緒をもつ木の中でとくに重んぜられた鉢木は7本あつたとされます。今回はその筆頭であり今も御影堂前で大切にされている「三鉢の松」を紹介いたします。

弘法大師が唐土より帰朝の際、かの地明州から船出にさきだち海岸に立つて強く東方に投げた八祖相伝の「三鉢杵」がとおく飛来して、高野の地のこの松にかかり夜な夜な靈光を放つていたのでこの地が真言密教相応の靈地であるとの信念をいつそう深くされたと伝えられております。

この結界も老朽化とともに新調されました。



高野山銘木の跡をたずねる

大門周辺整備が 整いました。

開創1200年に向けた景観整備は順次進んでおります。平成25年度に於いて、高野山の玄関口にあたる大門周辺を整備致しました。

現在の大門は、宝永2年(1705)に落慶し高野山全体の総門として位置づけられています。参拝いただく方に気持ちよく散策していただけるよう境内の杉の枝や大門の屋根に支障をきたしていた雑木の枝などを剪定しました。また正面より山下を望む景色が木々の生長



と共に見え辛くなつていました。剪定をしたことで高野山の山並みを今まで以上に眺めていただけたと思います。そこから眺める景色は朝日夕陽百選になつておりますので是非足を運んで頂き蓮八葉の山並みを楽しんで頂きたいと思います。

また、大門の両脇に立つ金剛力士像は東大寺南大門に次ぐ我が国2番目の大きさをほこる事でも有名です。

平成27年版予約受付中



木製干支カレンダー・短冊付 価格3500円

**献木一口
2000円**
なお、一回に五口以上の献木を
いただいた方には1本進呈致します。



今年の短冊は、弘法大師筆
崔子玉座右銘断簡

(さいしきよくざゆうのめいだんかん)
「無道人之短 無説口之長」
(人の短をいうなけれ 己の長を説くなれ)

■解説■
中国、後漢時代の儒学者である崔子玉が人生の戒めとして著した銘文の一部。他人の短所を非難せず、自分の長所を自慢しないという意味。数少ない弘法大師の自筆文。

**高野靈木を使用した
干支カレンダーを作成しております。**

平成26年版靈木カレンダーはご好評につき予定本数に達しました。平成27年版のお申し込みは同封のハガキにてお早めにお申し込みくださいますようお願い致します。

お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinka@koyasan.or.jp
※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報ください。

ウェブでも情報発信中!! <http://koya-forest.jp/blog/>

山林部ブログ

検索

『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。
郵便振替口座:大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行:○九九支店 当0061758
加入者名:宗教法人 金剛峯寺山林部

編集後記

ちょっと
ええ話

いつも通りの朝のマイカー通勤、何となくラジオを聞いていると、ため息をしたときは、深呼吸に替えてしまうといいとのことでした。

どちらもさほど変わりないようですが、早速やってみるといい感じで前向きになれるような気がします。

ため息つくと幸せが逃げて行くという話も聞きますが、人生山あり谷あり、疲れたときや心配事があるときなど自然とため息が出てしまうものです。

こんな時は大きな深呼吸にかえて心身共にリラックスしてみてはいかがですか。

いちどお試し下さい。

また、祖山の森林管理についてご意見ご要望がございましたらお聞かせ下さい。